

図書館からのお知らせ

◎図書館で資料を借りるには貸出カードが必要です。住所を確認できるもの（マイナンバーカード・運転免許証・保険証・学生証など）を利用申込書とともにカウンターにお持ちください。詳しくは職員までお尋ねください。



日の目を見ない本 ~どなたか手に取ってみませんか?~

せっかくの良書なのに、購入してから誰にも借りてもらえていない本を紹介します。気になるものがあれば、ぜひ読んでみてください。

今回は0類・総記からです。

一般書

ヤングアダルト

児童書



『ソーシャルメディア解体全書』

山口真一／著
勁草書房

フェイクニュースを誤情報と判断できず、拡散しやすい人の特徴とは？ ネット炎上にどう備えるべきか？ 豊富なエビデンスと大規模調査データに基づいて、ソーシャルメディアの実態を分析し、諸課題への対策を考える。

『質問する、問い返す』

名古屋隆彦／著
岩波書店（岩波ジュニア新書）

主体性とは、自分の考えや信念、判断に基づいて行動すること。「そもそも“考える”ってどういうこと？」「社会は若者にどんな力を期待している？」「どうすれば主体性が身につく？」...。主体的に生きるための処方箋を探る。

『ぼくのわたしの著作権ずかん』

森田盛行／監修
ほるぷ出版

著作物ってなに？ 複製権や譲渡権ってなに？ 楽譜をコピーしてみんなで使ってもいい？ 学校生活や家庭生活に役立つよう、著作権の正しい知識を、イラストやクイズなどを交えてわかりやすく解説する。

編集後記：

早いもので、もう4月です。暖かくなりはじめたと思ったら、途端にあちらこちらで色々な花が咲いて、気分も上々といったところです。

図書館では、1名新しく職員がはいりました。より良い図書館になるように職員一同気分も新たに頑張っていこうと思っています。

今年度もよろしくお願ひいたします。



図書館

だより

令和6年4月号
VOL.219



編集・発行

坂町立図書館

〒731-4314

安芸郡坂町坂西一丁目4番16号

TEL082-886-3280

FAX082-885-2471

利用案内

- 開館時間
火～金 9:00～20:00
土・日・祝 9:00～17:00
- 貸出
本、雑誌
ひとり5冊15日間
CD、ビデオ（DVD）
ひとり2点15日間

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日

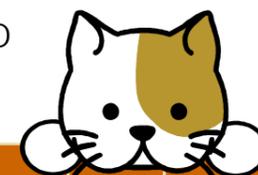
おはなし会

絵本の読み聞かせや紙しばいなどを行います。おはなしの世界を通じて、親子でふれあい、楽しい時間を過ごしましょう。

★ 4月18日（木）くれよんグループ

★ 4月25日（木）にこにこグループ

じかん 10:30～11:00



折り紙体験コーナー

4月17日（水）

10:30～11:30

坂町立図書館 多目的閲覧室

★ フラワーボックス

※ 持ってくるもの

- ・ おりがみ
- ・ はさみ
- ・ のり
- ・ サインペン

今月のオススメコーナー (テーマ) 『おっこちてきた!』

4月のオススメ図書コーナーは「おっこちてきた!」です。ふと見上げたら、何かが落ちてきた! 空から、木の上から、はたまた二階の窓から...? さて、おちてきたものは一体何だったでしょう? 「おっこちる」「降ってくる」場面が登場する絵本を紹介します。



この本、おもしろいよ

児童書



子どもに伝えたい和の技術 15 染め織り

和の技術を知る会著 文溪堂

古来より続き、新しく未来へ受け継がれていく、日本のさまざまな「技術」を紹介。15は、「染め織り」をテーマに、日本各地域で育まれてきた伝統的な染め織りやその技術などを、写真満載で解説する。



おもしろい話、集めました。1

一ノ瀬三葉 (いちのせ・みよ) ほか作 KADOKAWA

つばさ文庫の人気シリーズ大集合! 「時間割男子」「ふたごチャレンジ!」と、角川つばさ文庫小説賞受賞作「社長ですがなにか?」「はなバト!」を収録。新たなお気に入りシリーズが見つかる一冊。



グレッグのダメ日記 脳みそが、もういっぱい!

ジェフ・キニー作 中井はるの (なかい・はるの) 訳 ポプラ社

人間の脳みそは、すばらしいスーパーコンピューターみたいなものらしい。もしそれがホントだとしたら、ボクの脳みそは、なんでいつもボクにバカなことをさせるのか...。読むと元気になる、すごくダメな少年の日記。



おとうさんは103さい

信友直子 (のぶとも・なおこ) 作 吉田尚令 (よしだ・ひさのり) 絵 さ・え・ら書房

毎日庭のあじさいに水をやり、コーヒーをおぶつだんのおかあさんへ。103さいのおとうさんは、今日も明るく元気にくらしている...。映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」の監督による“おとうさん”の物語。

一般書



母という呪縛 娘という牢獄

齊藤彩 (さいとう・あや) 著 講談社

「医学部9浪」の娘はなぜ母を刺殺したのか。司法記者出身のライターが、獄中の娘と交わした膨大な量の往復書簡をもとにつづる、「学歴信仰」に囚われた人たち、そしてすべての母と娘に贈るノンフィクション。



ポテトチップスと日本人 人生に寄り添う国民食の誕生

稲田豊史 (いなだ・とよふみ) 著 朝日新聞出版

日本社会が変わるとき、そこにはポテトチップスがあった。「国策」が生まれ、「団塊ジュニア」が育て、「下流社会」が発展させたポテトチップスを軸に語る、戦後食文化史×日本人論。



名探偵じゃなくても

小西マサテル (こにし・まさてる) 著 宝島社

“サンタクロース消失事件”について議論していた楓たちは、楓の祖父の教え子の男性・我妻に声をかけられた。楓や我妻が持ち込む不可解な謎を、認知症の祖父が名探偵のごとく解決するが...。「名探偵のままできて」の続編。

ヤングアダルト



ことばの白地図を歩く 翻訳と魔法のあいだ

奈倉 有里 (なぐら・ゆり) 著 創元社

国境線のない真っ白な地図を持って、ことばと翻訳の旅に出よう! ロシア文学の研究と翻訳をしている著者が、自身の留学体験や文芸翻訳の実例を踏まえつつ、他言語に身をゆだねる魅力や迷い、醍醐味などを綴る。作品案内付き。

予約ベスト3

◆一般書

- ・「八月の御所グラウンド」
- ・「東京都同情塔」
- ・「ともぐい」

万城目 学/著
九段 理江/著
河崎 秋子/著

◆児童書

- ・「もりのひなまつり」
- ・「パンどろぼうとほっかほっカー」
- ・「おいしいおひなさま」

こいで やすこ/さく
柴田 ケイコ/作
すとう あさえ/ぶん